

作家 高村 薫さん

「戦後70年の日本人、 そして小説のいま」

日本は70年前、太平洋戦争で連合国に無条件降伏し、敗戦国となりました。70年という年月は人の記憶が途切れるのに十分な長さです。21世紀の日本には、かの戦争を語る言葉はもうほとんど残っていないのです。しかし私たちは、占領期に書かれた小説のなかで、当時の日本人のなまの感情や思いに触れることができます。この70年、日本人は何を思い、どんな小説を読んできたのでしょうか。そして、時代と社会の鏡である小説はいま、どんなかたちをしているのでしょうか。



日時 2015年

3月8日(日)

12:30開場 13:00～表彰式、記念講演
16:00終了予定 *表彰式からご参加ください

会場 九州芸文館

(福岡県筑後市津島1131 TEL0942-52-6435)

定員 300人(申し込み先着順)

入場 無料

高村 薫さんのプロフィール

1953年大阪市生まれ。国際基督教大卒。外資系商社勤務の傍ら小説を書き始め93年『マークスの山』で直木賞、97年『レディ・ジョーカー』で毎日出版文化賞、2006年『新リア王』で親鸞賞、10年『太陽を曳く馬』で読売文学賞を受賞。他の著作に『黄金を抱いて翔べ』(日本推理サスペンス大賞)、『リヴィエラを撃て』(日本推理作家協会賞、日本冒険小説協会大賞)、『照柿』『冷血』など多数。全国の地方紙などに『21世紀の空海』を連載中。

※当日会場先着50人に「文学界」4月号(第45回九州芸術祭文学賞最優秀作掲載)をプレゼントします。

お申し込み

往復はがきの往信用裏面に住所、氏名、年齢、電話番号を、返信用表面に申込者の宛名を記して〒810-0001 福岡市中央区天神1の4の1 西日本新聞会館12階 九州文化協会まで。はがき1枚に1名のみ記入。返信はがきが入場整理券となります(返信用裏面には何も書かないこと)。メール kyubunkyo@elf.coara.or.jp でも受け付け、入場整理番号をお知らせします。